

インマヌエル中目黒キリスト教会

2010年6月13日

聖日礼拝

ヨナ書連講10

「私にとって
『ニネベ』とは？」

ヨナ書4章5-11節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ヨナ書4章5-11節

5 ヨナは町から出て、
町の東のほうにすわり、
そこに自分で仮小屋を作り、
町の中で何が起こるかを
見きわめようと、
その陰の下にすわっていた。

6 神である主は

一本のとうごまを備え、
それをヨナの上をおおうように
生えさせ、

彼の頭の上の陰として、
ヨナの不きげんを直そうと
された。

ヨナはこのとうごまを
非常に喜んだ。

7 しかし、神は、翌日の夜明けに、
一匹の虫を備えられた。
虫がそのとうごまをかんだので、
とうごまは枯れた。

8 太陽が上ったとき、
神は焼けつくような東風を
備えられた。
太陽がヨナの頭に
照りつけたので、
彼は衰え果て、
自分の死を願って言った。
「私は生きているより
死んだほうがましだ。」

9 すると、神はヨナに仰せられた。

「このとうごまのために、
あなたは当然のことのように
怒るのか。」

ヨナは言った。

「私が死ぬほど怒るのは
当然のことです。」

10 主は仰せられた。

「あなたは、自分で骨折らず、
育てもせず、
一夜で生え、一夜で滅びた
このとうごまを惜しんでいる。

11 まして、わたしは、
この大きな町ニネベを
惜しまないでいられようか。
そこには、
右も左もわきまえない
十二万以上の人間と、
数多くの家畜とが
いるではないか。」

説教

ヨナ書連講10

「私にとって『ニネベ』とは？」

ヨナ書4章5-11節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「まして、わたしは、
この大きな町ニネベを
惜しまないでいられようか。」

(ヨナ4:10)

1. 「とうごま」の意味するもの

(先回の復習)

- とうごまの備え(イラスト①)
- 虫と東風の備え
- とうごまの意味するもの：
神の喜び以上に
私が喜ぶ対象のすべて

(イラスト①)

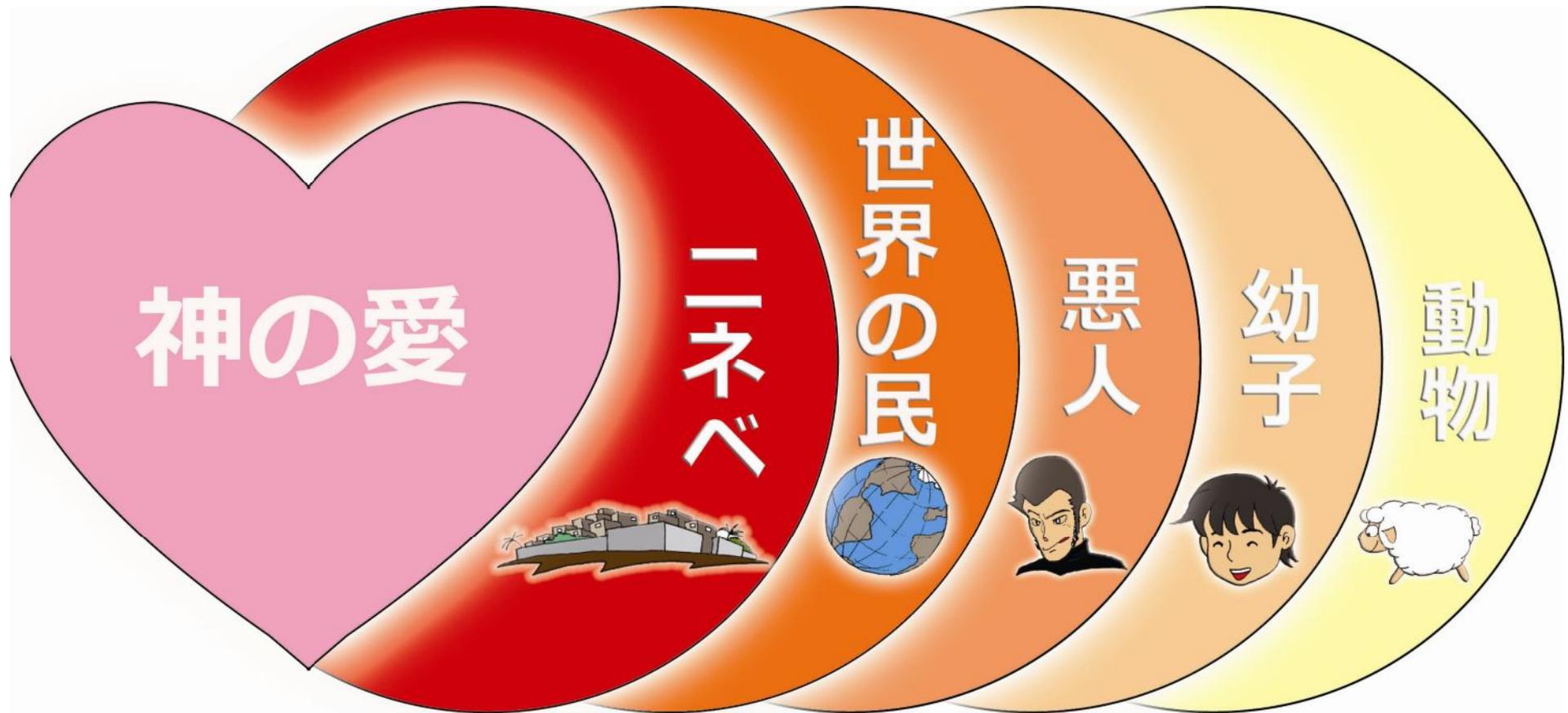


とうごま

2. とうごまとニネベを 比べると

	とうごま	ニネベ
世話を	かけない	かけた
対象との 人格的な交わり	ない	ある
取り替えが	きく	きかない
失う悲しみは	一時的	永遠的 (Ⅱペテロ3:9)
悲しみの動機は	利己的	無私的愛 (マタイ9:36)

3. 神の愛の大きさ(イラスト②)



- 神の愛は二ネベを覆う：
子供**12万**（申命記**1：39**）の
大都市

- 神の愛は世界の民に及ぶ：
vs狭量な選民意識・
排他的な愛国心

- 神の愛は「悪人」に及ぶ
(1:2、ルカ15:2、ローマ5:8)
- 神の愛は幼子に及ぶ
(マタイ19:14)
- 神の愛は動物たちにも及ぶ
(詩篇 145:9、マタイ10:29)

4. 私に取っての二ネベは？

救いから一番遠いと思える人々